

バブル後最安値割れ



電子速報版

2008年10月27日(月)発行

発行所

山形新聞社

山形市旅籠町二丁目五番

電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2008
Yamagata Shimbun

山形新聞ホームページ

web <http://yamagata-np.jp>

携帯 <http://yamagata-np.jp/k/>

購読申し込み(9~17時)

0120-81-8040

詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

東証、一時7400円台

金融危機で26年前の水準

週明け二十七日午前の東京株式市場は、金融危機に端を発した世界同時不況の懸念が一段と強まったことや、外国為替市場で円高が進んだことから売り注文が先行。日経平均株価(225種)は二〇〇三年四月二十八日に付けた、終値基準でのバブル経済崩壊後の最安値七六〇七円八八銭を割り込み、一時七四〇〇円台に下落した。二十六年前の一九八二年十一月の水準に逆戻りした。

米欧各国が金融機関への資本注入などの緊急対策を打ち出してきたが、米経済指標や日米企業の業績の悪化で金融危機が实体经济に打撃を与えていることが鮮明となり、不安心理が一段と強まっ

た。その後は、前週末の急落の反動による買い戻しで一時的上昇に転じ、前週末終値を挟んだ不安定な値動きとなった。午前九時十五分現在は、前週末比一円八五銭安の七六四七円二三銭。

全銘柄の値動きを示す東証株価指数(TOPIX)も八・一ポイント安の七九八・〇〇。世界的な株安連鎖は、個人消費をさらに冷え込ませ、金融機関の貸し渋りを招き、企業の体力を奪う恐れが強い。景気後退色が強まる日本経済は、さらに深刻な状況に追い込まれそうだ。平均株価は、バブル絶頂だった八九年大納会の十二月二十九日に、終値で三万八九一五円八七銭の史上最高値を付けた。



終値基準でのバブル経済崩壊後の最安値を割り込んだことを示す証券会社の株価ボード 27日午前9時4分、東京・八重洲